

南河内初となる気候非常事態を宣言 ～2050年までにゼロカーボンを表明～



河内長野市では、気候変動が脅威であることを市民に啓発し、市民とともに地球温暖化対策を進めていくため、気候非常事態を宣言し、温室効果ガスの削減について、2050年までにゼロカーボン（二酸化炭素排出量実質ゼロ）を表明しましたのでお知らせします。

なお、この宣言は、大阪府内では熊取町、泉大津市、豊中市、吹田市に続き5番目となり、南河内では初めてのものとなります。

【経緯】

近年、気候変動が一因と考えられる異常気象が世界各地で発生しており、地球温暖化対策が喫緊の課題となっています。

市域の7割を森林が占めるなど恵まれた自然環境を有する河内長野市では、再生可能エネルギー導入の推進、省エネルギー機器の導入及びバイオマスの利活用など、これまで様々な地球温暖化対策に取り組んできました。また、令和3年3月には、「河内長野市第3次環境基本計画」を策定し、2050年までにゼロカーボン掲げ、低炭素社会の実現に向けて「クールチョイス」などに重点的に取り組むことを決めました。

このような経緯をふまえ、令和3年3月8日に、「河内長野市気候非常事態宣言」を行いその中で2050年までにゼロカーボンを表明しました。

今後は、この宣言の趣旨をふまえ、市民との協働で、温室効果ガス削減に対する普及啓発などの取り組みを進め、環境と経済が両立する地域社会の構築に努めてまいります。

河内長野市気候非常事態宣言の本文は、下記のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/14/53228.html>

河内長野市第3次環境基本計画は、下記のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/14/1882.html>

【担当】

河内長野市 環境経済部 環境政策課

電話：0721-53-1111

河内長野市気候非常事態宣言

近年、気候変動が一因と考えられる異常気象が世界各地で発生し、これらに対応するため、2015年に採択されたパリ協定では、産業革命前からの気温上昇を2℃より低い状態に保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することを世界共通の目標としています。

また、地球温暖化を1.5℃に抑えるためには、2050年頃までに二酸化炭素排出量実質ゼロ（ゼロカーボン）を目指す必要があるとされています。

本市では、これまでも地球温暖化対策に取り組んできたところですが、新たに「河内長野市第3次環境基本計画」を策定し、「豊かな自然・文化を活かし みんなでめざす持続可能なまち かわちながの」を目指して、市民との協働で、温室効果ガス削減に対する普及啓発などの取り組みを進めてまいります。

また、地域資源を活用し、環境保全と経済成長の好循環を通じてSDGsの達成による持続可能な社会の実現をめざす中で、気候変動への対策も項目の一つとなっています。

以上のことから、市域の7割を森林が占めるなど、恵まれた自然環境をはじめとした貴重な地域資源を有している本市にあっても、気候変動が脅威であることを市民全員が認識し、市民の財産が失われることが無いよう、気候非常事態を宣言するとともに、2050年までのゼロカーボン達成を目指し、環境と経済が両立する地域社会の構築に努めてまいります。



令和3年（2021年） 3月 8日

河内長野市長

島田 智明